

SDGs に積極的、 調査開始以降で 初めて前年を下回る

取り組んでいる目標、
「働きがいも経済成長も」がトップ
取り組みによる効果、
「企業イメージの向上」がトップ

中国地方・SDGsに関する企業の意識調査(2025 年)



本件照会先

土川 英樹、松岡 静生、玄道 一成
帝国データバンク
広島支店 情報部
TEL:082-247-5930(直通)
info.hiroshima@mail.tdb.co.jp

発表日

2025/08/08

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

『SDGs に積極的』な企業の割合は 54.3%。前年から 2.7 ポイント低下し、2020 年 6 月の調査開始以降で初めて低下した。内訳は、「意味および重要性を理解し、取り組んでいる」が 29.6%、「意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている」が 24.7%となった。また、SDGsの項目に取り組む企業の 69.5%がその効果を実感しており、「企業イメージの向上」「従業員のモチベーションの向上」が上位となった。

※帝国データバンクでは、「SDGs」に関する企業の意識調査を実施し、

広島支店で中国地方に本社を置く企業の結果を集計・分析した。

調査期間は 2025 年 6 月 17 日～6 月 30 日。

調査対象は中国地方 2044 社で、有効回答企業数は 693 社(回答率 33.9%)。

本調査は 2020 年 6 月以降、毎年 6 月に実施し、今回が 6 回目。

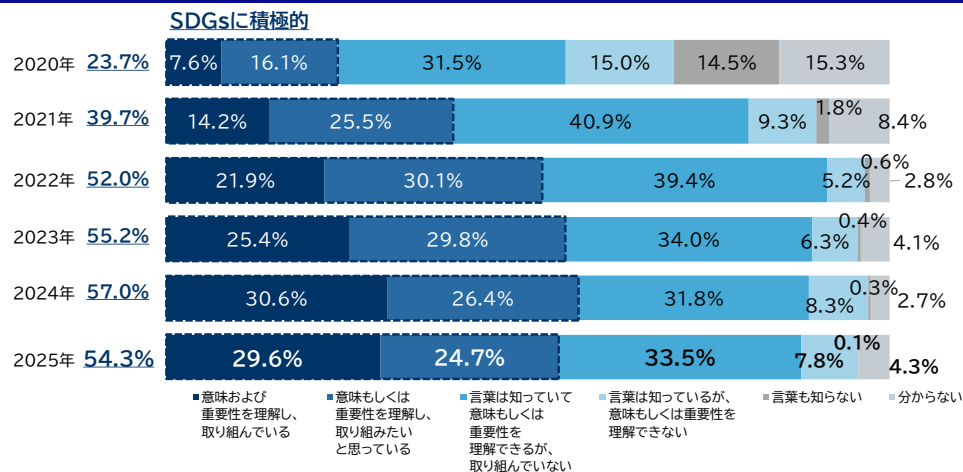
1.『SDGsに積極的』な企業、調査開始後、初めて前年を下回る

自社におけるSDGsへの理解や取り組みについて尋ねたところ、「意味および重要性を理解し、取り組んでいる」と回答した企業は 693 社中 205 社、構成比 29.6%を占めた。前回の 2024 年 6 月調査 (30.6%)から 1.0 ポイント低下した。一方、「意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている」は 24.7%(171 社)で、前回調査(26.4%)から 1.7 ポイント低下した。この 2 項目を合計した『SDGsに積極的』は 54.3%(376 社)となり、前回調査(57.0%)から 2.7 ポイント低下し、2020 年 6 月の調査開始以降、初めて前年を下回った。

一方、「言葉は知っていて意味もしくは重要性を理解できるが、取り組んでいない」は 33.5%(232 社)で最も高く、前回調査(31.8%)から 1.7 ポイント上昇した。「言葉は知っているが意味もしくは重要性を理解できない」は 7.8%(54 社)となり、これらを合わせた『SDGsを認知しつつも取り組みに積極的でない』は 41.3%(286 社)となり、4 割台で推移している状況が続いた。

規模別でみると、『SDGsに積極的』では、「大企業」(構成比 67.1%・55 社)が「中小企業」(52.5%・321 社)より 14.6 ポイントも高かった。一方、『SDGsを認知しつつも取り組みに積極的でない』では、「中小企業」(42.8%・261 社)が「大企業」(30.5%・25 社)より 12.3 ポイント高かった。

SDGs への理解と取り組み



注1:母数は有効回答企業693社。2024年調査は739社。2023年調査は761社。2022年調査は782社。2021年調査は656社。2020年調査は654社

注2:下線の値は青枠が指す『SDGsに積極的』の割合

注3:小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない

										(構成比%、カッコ内社数)	
2025年6月調査	SDGsに『積極的』	意味および重要性を理解し、取り組んでいる	意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている	SDGsを認知しつつも取り組みに積極的でない	言葉は知っていて意味もしくは重要性を理解できるが、取り組んでいない	言葉は知っているが意味もしくは重要性を理解できない	言葉も知らない	分からない	合計		
全国	53.3 (5,567)	30.2 (3,152)	23.1 (2,415)	41.8 (4,363)	33.8 (3,525)	8.0 (838)	0.4 (38)	4.5 (467)	100.0	(10,435)	
中国	54.3 (376)	29.6 (205)	24.7 (171)	41.3 (286)	33.5 (232)	7.8 (54)	0.1 (1)	4.3 (30)	100.0	(693)	
大企業	67.1 (55)	42.7 (35)	24.4 (20)	30.5 (25)	23.2 (19)	7.3 (6)	0.0 (0)	2.4 (2)	100.0	(82)	
中小企業	52.5 (321)	27.8 (170)	24.7 (151)	42.8 (261)	34.9 (213)	7.9 (48)	0.2 (1)	4.6 (28)	100.0	(611)	
うち小規模	42.6 (95)	18.8 (42)	23.8 (53)	50.3 (112)	39.5 (88)	10.8 (24)	0.4 (1)	6.7 (15)	100.0	(223)	
農・林・水産	80.0 (8)	40.0 (4)	40.0 (4)	20.0 (2)	20.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0	(10)	
金融	50.0 (4)	25.0 (2)	25.0 (2)	37.5 (3)	37.5 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	12.5 (1)	100.0	(8)	
建設	47.8 (43)	28.9 (26)	18.9 (17)	44.5 (40)	35.6 (32)	8.9 (8)	0.0 (0)	7.8 (7)	100.0	(90)	
不動産	44.4 (8)	33.3 (6)	11.1 (2)	44.4 (8)	33.3 (6)	11.1 (2)	0.0 (0)	11.1 (2)	100.0	(18)	
製造	62.5 (115)	34.8 (64)	27.7 (51)	35.3 (65)	29.3 (54)	6.0 (11)	0.0 (0)	2.2 (4)	100.0	(184)	
卸売	62.1 (100)	30.4 (49)	31.7 (51)	34.2 (55)	26.7 (43)	7.5 (12)	0.0 (0)	3.7 (6)	100.0	(161)	
小売	40.8 (29)	22.5 (16)	18.3 (13)	55.0 (39)	43.7 (31)	11.3 (8)	0.0 (0)	4.2 (3)	100.0	(71)	
運輸・倉庫	54.8 (17)	29.0 (9)	25.8 (8)	45.2 (14)	32.3 (10)	12.9 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0	(31)	
サービス	43.2 (51)	23.7 (28)	19.5 (23)	50.0 (59)	42.4 (50)	7.6 (9)	0.8 (1)	5.9 (7)	100.0	(118)	
鳥取	58.3 (35)	30.0 (18)	28.3 (17)	36.6 (22)	33.3 (20)	3.3 (2)	0.0 (0)	5.0 (3)	100.0	(60)	
島根	51.5 (51)	24.2 (24)	27.3 (27)	42.4 (42)	32.3 (32)	10.1 (10)	1.0 (1)	5.1 (5)	100.0	(99)	
岡山	52.7 (86)	28.2 (46)	24.5 (40)	41.1 (67)	29.4 (48)	11.7 (19)	0.0 (0)	6.1 (10)	100.0	(163)	
広島	54.8 (132)	32.4 (78)	22.4 (54)	41.1 (99)	34.0 (82)	7.1 (17)	0.0 (0)	4.1 (10)	100.0	(241)	
山口	55.4 (72)	30.0 (39)	25.4 (33)	43.1 (56)	38.5 (50)	4.6 (6)	0.0 (0)	1.5 (2)	100.0	(130)	

注1:県別は、中国地方の全体以上を表す

注2:母数は有効回答企業1万435社、中国は693社

2. 現在取り組んでいる目標、「働きがいも経済成長も」が最多

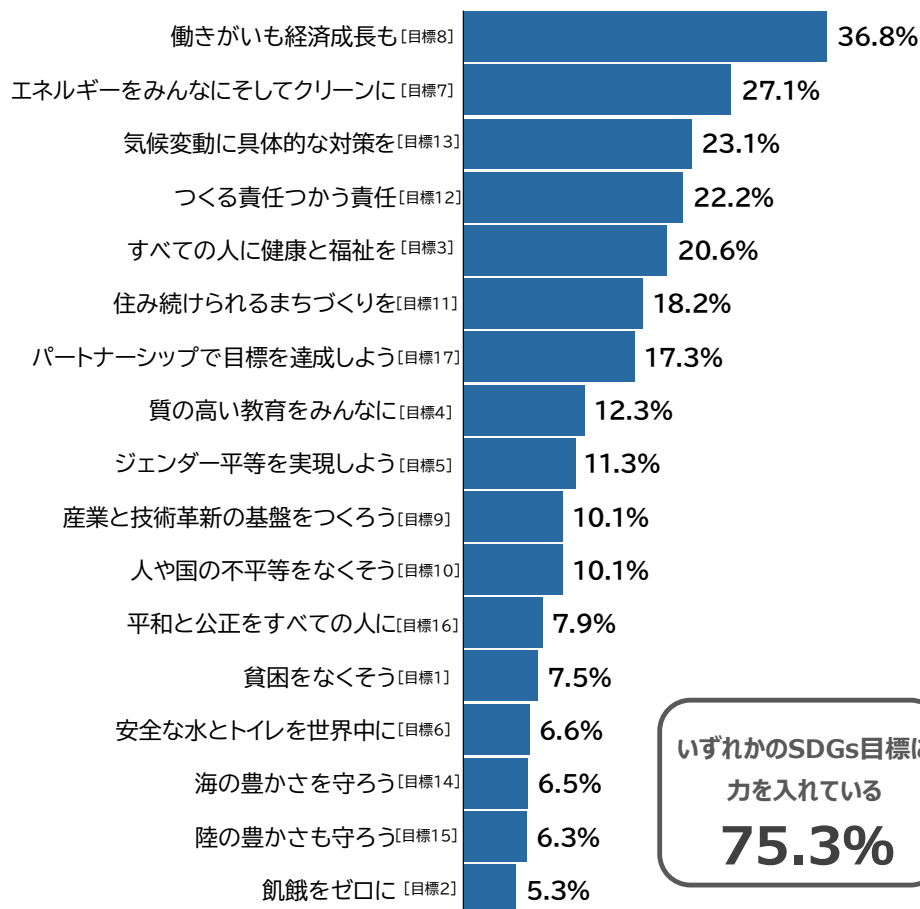
SDGsで掲げられている 17 目標のうち、現在取り組んでいる目標を尋ねたところ（複数回答、以下同）、目標の 8 つ目である「働きがいも経済成長も」が 693 社中 255 社、構成比 36.8%で最も高かった。次いで、太陽光や風力などの再生可能エネルギーを活用する「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」が 27.1%（188 社）、「気候変動に具体的な対策を」が 23.1%（160 社）、「つくる責任つかう責任」が 22.2%（154 社）、「すべての人に健康と福祉を」が 20.6%（143 社）で 2 割を超えた。

以下、「住み続けられるまちづくりを」（18.2%・126 社）、「パートナーシップで目標を達成しよう」（17.3%・120 社）、「質の高い教育をみんなに」（12.3%・85 社）、「ジェンダー平等を実現しよう」（11.3%・78 社）、「産業と技術革新の基盤をつくろう」（10.1%・70 社）、「人や国の不平等をなくそう」（10.1%・70 社）が続いた。

一方、「飢餓をゼロに」（5.3%・37 社）は構成比が最も低く、次いで、「陸の豊かさを守ろう」（6.3%・44 社）、「海の豊かさを守ろう」（6.5%・45 社）、「安全な水とトイレを世界中に」（6.6%・46 社）、「貧困をなくそう」（7.5%・52 社）、「平和と公正をすべての人に」（7.9%・55 社）が 10%未満となった。

総じて、いずれかの SDGs 目標に力を入れている企業は前年（73.5%）から 1.8 ポイント増の 75.3%となった。

SDGs17 目標のうち、現在力を入れている項目（複数回答）

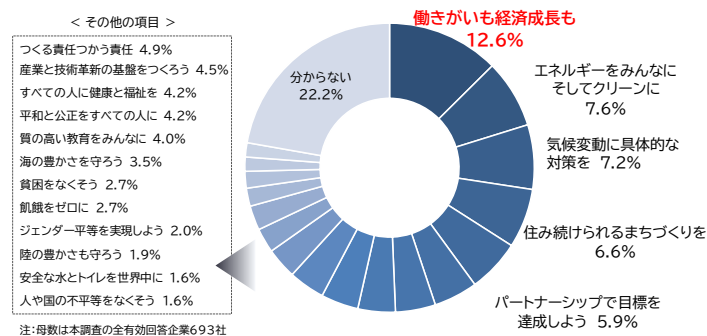


注：母数は本調査の全有効回答企業693社

3. 今後取り組みたい目標、「働きがいも経済成長も」がトップ

SDGsで掲げられている 17 目標のうち、今後最も取り組みたい目標を尋ねたところ、目標の 8 つ目に掲げられている「働きがいも経済成長も」が 693 社中 87 社、構成比 12.6%で最も高かった。以下、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」(7.6%・53 社)、「気候変動に具体的な対策を」(7.2%・50 社)、「住み続けられるまちづくりを」(6.6%・46 社)、「パートナーシップで目標を達成しよう」(5.9%・41 社)が続いた。石炭や石油などの化石燃料に代わって、クリーンエネルギーを活用することや、気候変動などによる災害発生への備えを意識する企業が多い傾向がみられた。

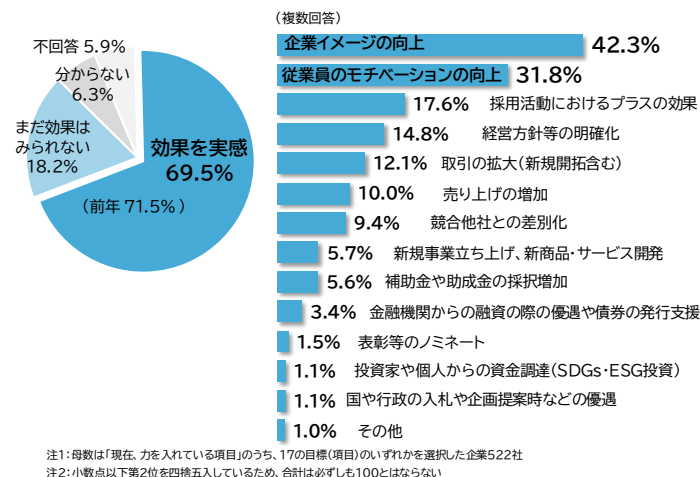
SDGs の 17 目標のうち、今後最も取り組みたい目標



4. 取り組みによる効果、「企業イメージの向上」が最多の 42.3%

現在、SDGsへの各目標に力を入れている企業 522 社に、その取り組みによる効果を尋ねたところ（複数回答、以下同）、「企業イメージの向上」が構成比 42.3%（221 社）で最も高かった。次いで、人材の定着率の向上につながる「従業員のモチベーションの向上」(31.8%・166 社)、「採用活動におけるプラスの効果」(17.6%・92 社)、「経営方針等の明確化」(14.8%・77 社)、「取引の拡大（新規開拓含む）」(12.1%・63 社)となった。なお、何らかの『SDGsへの取り組みによる効果を得た』企業は、69.5%（363 社）となった（「まだ効果はみられない」「分からない」「不回答」を除く）。

SDGs への取り組みによる効果



まとめ

本調査の結果、『SDGs に積極的』な中国地方の企業の割合は 54.3%となり、2020 年 6 月の調査開始以来、初めて前年を下回った。内訳は、「意味および重要性を理解し、取り組んでいる」企業が 29.6%で、「意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている」企業が 24.7%となった。

SDGsの 17 目標のうち、「現在取り組んでいる目標」および「今後最も取り組みたい目標」は、ともに『働きがいも経済成長も』がトップとなった。また、取り組みを通じて、「企業イメージの向上」「従業員のモチベーションの向上」の効果を実感している企業が多数を占めた。

一方で、「言葉は知っていて意味もしくは重要性を理解できるが、取り組んでいない」は 33.5%を占めた。また、「言葉は知っているが意味もしくは重要性を理解できない」は 7.8%なった。これらをあわせた『SDGs を認知しつつも取り組みに積極的でない』は 41.3% (286 社) となり、4 割台で推移している状況が続いた。現状、資金や人的な余裕が少ない中小企業においては、SDGsの目標に対してそれぞれの立場で理解を深め、まずは身近なことから少しずつ取り組むことで、持続的な企業の成長に繋がることが期待される。

企業からの声

- ・SDGs を手掛けるほどの人員・予算がない (メンテナンス・広島)
- ・趣旨は理解するが、ESG 投資や出資だけが先行し、効果も見えにくいため、積極的に推進できない。せめて補助金などの制度を拡充して欲しい (不動産・広島)
- ・消極的な国家もあり、全世界的に縮小方向へ動いているのではないかと (情報サービス・広島)
- ・ビジネスとなっており、見直すべき (医薬品小売・広島)
- ・業界全体で積極的に取り組む姿勢が依然と比べて見られなくなった (婦人・子供服卸・広島)
- ・意味および重要性を理解し、現在取り組んでいる (建物サービス・岡山)
- ・SDGs をやっても意味がない。メリットがなく無駄な出費が多い (電気機器卸・岡山)
- ・やれることはやるべき (機械製造・岡山)
- ・戦略の柱にすえるべき指針として、中小企業こそ有効活用を考えるべき (専門サービス・岡山)
- ・国や県市町村が SDGs に対し補助金を拡充すべきだと思う (建設・岡山)
- ・大手企業と対等とはいかない (化学品製造・岡山)
- ・中小零細企業に負担増となる事ばかりを推奨している (自動車部品製造・岡山)
- ・SDGs 宣言や SBT 認定など取り組みとして始めているが、具体的な成果・効果の実感がない。できることからコツコツであるが、将来的に評価されるようになれば取り組み方も加速すると思う (建設・山口)
- ・雇用を守るのが精一杯で、お金をかけてまでは取り組めない (建設・山口)
- ・小さなことからチャレンジしていく (建設・山口)
- ・否定できないきれいごとが並んでいるが、本当に世の中のためになっているのか疑問 (鉄鋼製造・山口)
- ・重要なテーマは多いが、最近はビジネスとしての SDGs が前面に出過ぎている (鉄鋼製造・鳥取)
- ・活動を本業に結びつけることが大事 (サッシ卸・島根)
- ・次の世代、その次の世代に現在のつけが回らない様にしたいと思っている (木材卸・島根)